

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー（店長）	・9月以降は催事が多く、特に高知県では、国体もあり、期待が持てる。
		スーパー（営業担当）	・8月は夏物処分で利益率が悪いが、9月は秋物、冬物のシーズン商品など利益率が良い。
		衣料品専門店（経営者）	・台風13号の後、気温も秋めいており、秋物の商品の動きが例年になく早い。
		乗用車販売店（従業員）	・秋のモデルチェンジ、マイナーチェンジの新型車に期待が持てる。
		通信会社（営業担当）	・行楽シーズンの到来で消費活動が盛んになる。
		観光名所（職員）	・築城400年祭の各種イベントの開催により、来客数が増加する。
		ゴルフ場（従業員）	・来場者の動向から2、3カ月後の予約状況を見ると良好である。
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	・毎年9、10、11月は暇な時期であり、売上げが伸びる可能性が少ない。それに加え、客の購買力が低下している。
		スーパー（企画担当）	・客の消費行動は、不要不急なものについては慎重であり、節約型の消費である。
		スーパー（財務担当）	・7月のボーナス商戦、8月のお盆商戦共に売上げは伸びず、考えて買い物をする人が増加している。また、秋口に向けて売上げが伸びる要素がない。
		コンビニ（エリア担当）	・各企業は在庫調整、あるいは投資を控えており、停滞傾向にある。
		コンビニ（店長）	・月単位の格差がなくなってきているが、売れる時にもあまり伸びない。来客数、単価は、対前年比で少し低下している。
		衣料品専門店（経営者）	・購入態度が慎重である。3カ月後に可処分所得が増えるとは思えず、失業問題、株価の動きからすると、消費、特に高級品の購入態度は慎重である。
衣料品専門店（経営者）		・来客数や単価に変化がない。	
衣料品専門店（店長）		・単価に変化がない。	
家電量販店（店長）		・プラズマテレビや大型の液晶テレビの販売で、単価は上がっているが、パソコンの落ち込みをカバーできるほどではない。	
乗用車販売店（従業員）		・8月は対前年に比べて良好であったが、累計では、例年を下回った。9月以降も新型車の発売予定もなく、特別良くなる要素がない。	
都市型ホテル（経営者）		・9月、10月の高知国体の開催による宿泊客は増加するが、逆に、一般の宴会や宿泊客が減少する。	
旅行代理店（従業員）		・正月を控えて、例年同様の家族旅行、航空券の需要が見込まれる。	
観光名所（経営者）		・行楽シーズンで客は増加するが、対前年同月比では例年並みである。	
その他住宅〔不動産〕（経営者）	・まずまずの売れ行きであり、この状態がしばらく続く。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・来客数、単価ともに悪化している。商店街にオープンした新店舗も苦戦している。	
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・来月中旬に高速道路が延伸するが、得意先がその変化に対応できるのか楽観視できない。	
	百貨店（売場主任）	・12月に他の大手百貨店が開店セールを予定している。来客数は増加するが、売上げは、その大手百貨店に獲られる。	
	百貨店（営業担当）	・ブランド品、宝飾品、絵画等が不調で、大口売上げの件数も減少している。客の購入意欲に改善が見られない。	
	スーパー（店長）	・3月、4月、5月、6月、7月と単価が下落しており、上昇する要因がない。	
	観光型旅館（経営者）	・9、10、11月の予約状況が良くない。代理店の予約状況も良くなく、秋口は人が動かない。	
悪くなる	通信会社（企画担当）	・客の動向は、非常に財布のひもが固く、電話の通話料は、10%以上減少している。	
企業 動向	良くなる	-	-
	やや良くなる	化学工業（営業担当）	・上昇傾向であり、秋口の需要により受注量が増加する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連	変わらない	食料品製造業（従業員）	・冬の食材により現状維持か、多少良くなるが、残留農薬の問題がマイナス要因になっている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・建設用クレーンの総需要は、4カ月連続で減少している。公共投資削減の影響で工事受注量が減少しており、また、先行きに不透明感もあり、新たな購買意欲がない。
		建設業（総務担当）	・民間工事で大口受注になると、共同受注になるケースが増加している。
		金融業（融資担当）	・受注量、価格とも底ばいである。
		広告代理店（経営者）	・市場が縮小し、価格競争が厳しく、採算が合わないものが出てきている。
		広告代理店（経営者）	・下期の広告予算設定で、媒体の見直しと出稿量の縮小が顕著になっている。
	やや悪くなる	輸送業（支店長）	・対前年比で貨物の発送物量は、減少している。到着物量はそれ以上に減少している。
		不動産業（経営者）	・アパート斡旋の客の希望価格が低価格になっている。
		公認会計士	・法人の設備投資意欲がない。決算の数字を見ても前年対比で売上が15%以上減少しており、資金繰りも悪化している。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・正社員の採用数が増加している。
	変わらない	職業安定所（職員）	・パートを含む有効求人倍率が0.51と0.01ポイント改善した。新規求職者数は、10か月連続で対前年同月比は増加している。しかし、求人数は、新規、有効とも減少しており、改善の兆しがない。
		職業安定所（職員）	・求人数が増加しない。特に、製造業の求人数が増加しない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人動向は依然として低迷を続けている。
	やや悪くなる		
	悪くなる		